



きずな

ドリームLブロック

ドリームリーグLブロックは、手稲東、スポルティングFC、伏見、北野台、FibraFC、東橋、西岡南、フィールズホープ、EASTGANBAの9チームで戦いました。各チームそれぞれに中心選手がおり、それぞれのチームのカラーがあったリーグ戦となりました。

優勝はEASTGNBAです。試合に出ている8人全員がしっか



りした技術を持ったチームでした。最終節に優勝には勝利しかないという状況でも、確実に勝利を収め、改めて強さが際立った優勝でした。また、交代で出てくる選手も能力が高く、チーム全体の力が高いチームでした。惜しくも準優勝となった手稲東は、コンビネーションで突破したり、長身の選手が個で突破したりと、攻撃の幅があるチームでした。同じく最終節では、EASTGANBAさんに勝利し、ぎりぎりまでEASTGANBAさんを追い込みまし

たが、惜しくも準優勝でした。

リーグ戦は、予備日がない状況でスタートしましたが、会場校のご尽力で無事に全試合を予定通り消化することができました。また、会場校のご協力により、フレンドリーマッチも多く行うことができ、多くの選手にプレーの機会を与える事が出来ました。各チームのマナーも良く、大きな問題もありませんでした。子どもたちは伸び伸びとプレーすることができていたと思います。



リーグの運営に当たり、各チームのご協力によって無事にリーグ戦を終える事が出来ました。この場をおかりして、感謝申し上げます。ありがとうございました。

フューチャーリーグNブロック

フューチャーリーグNブロックは、花川南、札幌美園、上白石札幌 BONITA、上野幌西、札幌中央、DENOVA 初任、LAVORO II、紅南の9チームで全日程を消化しました。各チームともに次年度の昇格をかけて持ち味を發揮し、最後まで白熱した試合が多くみられたリーグでした。

優勝したのは上野幌西。1引き分けを除き全て全勝という



圧倒的な試合運びで他をよけつげず

に堂々の優勝でした。特に⑰、⑨を中心とした中盤から前線への多彩な攻撃に加えリーグ戦を戦い抜きながら守備陣が毎試合毎に強固なものになっていくのを感じました。

準優勝は札幌中央。Nリーグ内では最多の登録選手数22名で選手層の厚さを生かし6年生を中心にパス



サッカーで着々と上位を死守。⑨、⑤を起点とした攻撃に加え、⑥の献身的な守備、⑫、⑳の攻撃はバリエーションの多さを見せつけました。2位以下が混戦のまま迎えた最終節では3位の上白石との直接対決を制し2年ぶりの上位返り咲きへ。その他のチームでは僅差で惜しくも3位だった上白石は次年度上位昇格の筆頭であり、今回初参戦の紅南は⑩を中心に⑨の裏へ抜ける攻撃が実を結び堂々の



5位で終了。健闘したと思えます。その他 BONITA、DENOVA、LAVORO のクラブ勢は着々と経験を積む場として上級生相手に頑張っていたのではないかと思います。花川南は上級生選手が少ない中、最初は試合中でもチーム内の選手同士で意見が合わず苦しい試合運びを繰り返していましたが、リーグ後半になると次第にチームとしての成長を見ることができ、今後の活躍に期待したいと思います。

リーグ戦の運営面では大きな中止、変更などもなく、また降雨による著しいグラウンドコンディション不良もなく無事に終えることができました。特に花川南会場を多く使用できた事で会場不足を回避できたことは大きく、更にグラウンドの余白部分で低学年組の交流試合も開催することができました。花川南イレブンの指導者、保護者の方々には大変ご尽力頂きこの場をお借りしてお礼申し上げます。保護者の皆様の応援マナーも各チーム素晴らしいお手本となるような応援が繰り広げられました。会場からのクレームも皆無で、駐車台数等のトラブル発生することなく終えることができました。リーグ戦を通じて各試合ともリーグ戦終了後に交流試合を毎回設けられたことはよかったのではないかと思います。各チームの多大なるご尽力の元、円滑にリーグ戦を運営することができました。